様式１－１

大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F111310102192	設置等組織名	農学部農業生産学科
大学名	東都大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	埼玉県	事業計画名	学部再編による農学部創設プロジェクト

１.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
フェーズ1	①令和5年8月　開設準備委員会設置、学部設置全体計画、企業・教育機関との協力計画を策定 ②令和5年8-9月　沼津市および静岡県と開設についての協力体制の協議、農学部・地域の動向調査 ③令和5年10-12月　企業、農協等関係団体との協力体制構築、学部長選定 ④令和6年4月　開設準備室設立、施設設備計画策定、開設場所土壌調査 ⑤令和6年5月　農学部・地域の受験動向調査 ⑥令和6年8月　教育協力機関連携協議会開催、設計監理業者選定、教員募集開始 ⑦令和6年10月　新キャンパス施設設備整備計画確定、工事業者入札 ⑧令和7年4月　カリキュラム策定 ⑨令和7年6月　建物建築確認申請、受験生ニーズアンケート調査実施、インターンシップ先確保	①令和5年8月　開設準備委員会設置、学部設置全体計画、企業・教育機関との協力計画を策定 ②令和5年8月-令和6年2月　沼津市および静岡県と開設についての協力体制の協議、農学部・地域の動向調査 ③令和5年10月-令和6年3月　企業、農協等関係団体との協力体制構築、学部長選定 ③令和６年6月　企業、農協等関係団体との協力体制構築（近畿大学視察） ④令和6年12月　施設設備整備計画策定（キャンパス候補地現地調査） ⑤令和6年11月-令和7年3月　農学部・地域の動向調査（高校ヒアリング、埼玉県追加） ③令和7年3月　学部長予定者決定 ④令和7年3月　開設準備室を設置準備室に改組し深谷キャンパスでの具体的な施設設備整備計画策定開始、教育用圃場についてキャンパス内設置の検討並びに深谷市と連携して適切な耕地を探索を開始 ⑧令和7年4月　学部長予定者のもとカリキュラムワーキンググループを立ち上げカリキュラム策定を開始 ③令和7年7月　関東農政局と情報交換を実施 令和7年9月　理事会において本事業の廃止を決定 令和8年1月　事業廃止承認申請書を提出（令和8年2月6日承認）	R5年度自己評価：【２】計画を十分には実施していない。 学部長候補者の確保に苦慮しており、「③企業、農協等関係団体との協力体制構築、学部長選定」のうち、数名の候補者との面談を行っているが、選定にまで至っていない。引き続き、これまで施設見学や学部の設置構想等に協力していただいた教育機関等に連絡を取りながら、次年度も早期の人材確保に努める。 R6年度自己評価：【２】計画を十分には実施していない。 建築費の高騰等により予定していたキャンパス候補地（静岡県沼津）での計画実施が難しくなり新学部校地を再検討した。新学部を既存施設を活用改修し農業の盛んな深谷キャンパスに設置することで、当初計画通りに管理栄養コースを含む「土から口のエキスパート」を目指す農学部設置が可能となる見込である。令和7年3月理事会で計画変更が承認され、また地域連携を含め埼玉県深谷市の協力も確約された。令和7年3月に農業生産を専門とする学部長候補者も就任が決定し、ただちに農学部設置推進委員会、カリキュラムワーキンググループが構成された。教室、実習室の整備は新築ではなく既存建物の改修で進め、圃場等は市との連携で既存の耕作地を使用できるため、施設設備の準備は計画に沿って行える。令和7年6月に開設準備室を設置し、令和8年3月の認可申請に向け準備を進める。
フェーズ2 前倒し	①令和7年8月　キャンパス用地の整地、新棟、圃場着工	①令和7年6月　深谷市農業委員会と農地の候補地について打合せ	R7年度自己評価：【１】計画を実施していない。 令和7年9月25日理事会において、建築費の高騰や学生確保の見通し、現在の進捗状況等を総合的に勘案し、事業の廃止を決定した。その後、事業廃止承認申請を行い、事業廃止の承認を得た。
認可申請又は届出	令和8年3月　農学部農業生産学科　認可申請予定		
フェーズ1 後倒し			○年度自己評価：リストから選択してください。
フェーズ2	①令和8年4月　教務委員会設置、入試広報委員会設置 既存建物取得・改修 ②令和8年6月　学校説明会開催、スクールバス（路線バス）申請 ③令和8年8月　教員教育研修会（新教育法、評価法講習会）開催 ④令和8年9月　総合型選抜および社会人入試実施 ⑤令和8年10月　学外実習（臨地実習、企業）実習担当者研修会開催 ⑥令和8年11月　推薦型入試実施 ⑦令和9年1月　共通試験利用選抜実施、教育研究用機器備品購入 ⑧令和9年2月　新キャンパス整備、校舎建築完了、開校準備、一般選抜入試実施		○年度自己評価：リストから選択してください。
開設又は定員増	令和9年4月　農学部農業生産学科開設予定（入学定員100名、農学関係）		
フェーズ2 後倒し			○年度自己評価：リストから選択してください。
フェーズ3	①令和9年4月　開校式、入学式（以降毎年実施） ②令和9年5月　新入生の志望動機、入学後の希望調査（以降毎年実施） ③令和9年10月　関連機関（行政、企業、JA、教育機関）との連携協議会開催（以降毎年実施）、 地元、地域との交流を兼ねた学園祭開催（以降毎年実施） ④令和10年3月　教育改善のための外部評価委員会、教学監査（以降毎年実施） ⑤令和11年6月　自己点検評価ならびに教育成果調査（以降毎年実施） ⑥令和13年3月　卒業式（以降毎年実施）、卒業生・卒業生父母満足度調査（以降毎年実施）		○年度自己評価：リストから選択してください。 ○年度自己評価：リストから選択してください。 ○年度自己評価：リストから選択してください。 ○年度自己評価：リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	令和8年3月　農学部農業生産学科の認可申請とともに既存学科100名の減員に係る届出予定	令和7年4月　管理栄養学部管理栄養学科　募集停止の報告（入学定員60名、家政関係） 令和8年3月　農学部農業生産学科の認可申請とともに既存学科40名の減員に係る届出予定 令和10年4月　管理栄養学部管理栄養学科　募集停止の予定（入学定員60名、家政関係）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	東都大学

２.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

ⅰ） 学生募集停止中の大学

該当無し	■ チェック

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	■ チェック

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	■ チェック

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	■ チェック

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	■ チェック

３.申請要件の取組状況

令和7年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。 確認を受けている ■ チェック 確認の対象に該当しない □ チェック		
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。 計画通りに進んでいる □ チェック	学生募集の見通しが立たず、事業の廃止を決定した。	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。） 計画通りに進んでいる ■ チェック		
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。 計画通りに進んでいる ■ チェック		
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。 計画通りに進んでいる ■ チェック		
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。 計画通りに進んでいる ■ チェック		
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。 計画通りに進んでいる ■ チェック		
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。 計画通りに進んでいる ■ チェック		
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。 計画通りに進んでいる ■ チェック		
⑨	事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。） 計画通りに進んでいる、又は設置等を行った □ チェック	キャンパス候補地の変更や学部長候補者確保の遅れなどに加え、既存学部の収容定員充足率が大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準に抵触する可能性が高くなり、4年以内の設置認可申請が難しく、事業の廃位を決定した。	
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。 計画通りに進んでいる □ チェック	大学の総収容定員充足率がR6.5.1時点で77%、R7.5.1時点で75%と減少傾向にある。入学者数はR6年度からR7年度で64名増加したが、卒業生の数が入学者数を上回っているため、全体としては減少となっている。定員未充足率が大きかった管理栄養学部については事前に募集停止を決定したが、その他学部でも未充足が続いており、大学の最優先事項として改善に取り組んでいる。	
⑪	フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。 計画通りに進んでいる ■ チェック		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	東都大学

⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。 計画通りに進んでいる　■ チェック	
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。 計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した　■ チェック	
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。 認定を受けておらず申請する意向もない　■ チェック	

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連係開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
自治体との連携では、沼津市農林農地課、緑地公園課にてインターンシップを行ない農業行政、農地や農業を地域の課題として捉え問題発見と解決のための考え方、シミュレーションの学修機会とする。県農林技術研究所では農学研究、フィールドスタディ研修を行い、先進的農業生産の学修機会とする。地域に根ざした特色ある農業生産の実地学修として、各農協に地域農家における実践学修の仲介を依頼する。東レ建設㈱には、同社が展開するトレファームを含むDX農業実践の研修、教育を依頼する。市民病院では、農作物が医療の中でどのように使われるか、健康・医療・長寿にかかわる食品について学ぶ機会となる。東京農業大学とは農業生産学教育について連携する。埼玉工業大学とは情報通信工学、DX技術教育について連携することに加え、本学科卒業生には同校との提携大学院「工学研究科情報システム専攻ヘルスケア科学教育研究分野」（令和6年設置）への進学機会を提供する。また、静岡工科自動車大学校と連携し、学生が大型特殊車両・牽引車等農業生産に係る車両運転整備技能並びに免許を取得できる科目を設置する。	キャンパス設置場所の変更に伴い、新たに地元自治体ならびに企業与野連携を再構築を始めたところであったが、計画の進捗状況や学生確保の見通し、建築費の高騰に加え、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準に抵触する可能性が限りなく高くったことで、事業自体の廃止を決定した。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜では、情報を含む文系科目のみの選択による受験も可能として、入学後にリメディアル教育で化学、生物など理系の学識を補完する。総合型選抜、社会人選抜では農業生産への意欲と応募者の特性を評価する。女子学生確保については、女性にも優しい農業生産の教育を充実させ、性差医療と食物、妊娠出産と食品とその生産、美容食品、抗加齢、さらに農業生産者のための健康・美容法など女子に興味の高い必修および選択科目を設置、アパレル企業と提携して農作業の女性用作業服を開発、作業後の清潔のための温泉入浴施設(既存施設の有効活用)を含むキャンパスアメニティーの充実、さらに男女共同参画の校風と教育を行い「農業女子」を育成する。社会人の受け入れには、卒業大学での単位取得、社会経験などを考慮した履修科目の調整、就労しながらの学修の利便性（夜間あるいは休日授業）、修業年限の延長などにより社会人が学位を取得できるための自由度の高い教育プログラムを提供する。さらに多様な入学者の確保について、学内他学科からの編入など、入学後の進路変更にも柔軟に対応する。	埼玉県での高校へのアンケート調査、訪問調査などを通して、現在の普通高校、あるいは農業高校生徒が農学部に進学する意識、興味なども含めて、教育方針、カリキュラム、入学者選抜、女子高生の確保、地域初等中等教育の連携、社会人学生強化に向けた取り組みを検討していたが、計画の進捗状況や学生確保の見通し、建築費の高騰に加え、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準に抵触する可能性が限りなく高くったことで、事業自体の廃止を決定した。	

大学名	東都大学

1.本事業対象となる学部等の状況

<合計>

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***	***																
		入学者数(B)	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***	***																
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***	***																
		編入学定員	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	***	***	***																
		編入学者数	人	***	***	***																
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***	***																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	***	***	***																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	***	***	***																
		授業科目の単位数	単位	***	***	***																

大学名	東都大学

本事業対象となる学部等の個数	1

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	農学部農業生産学科

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***	***																
		編入学定員	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	***	***	***																
		編入学者数	人	***	***	***																
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	***	***	***																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	***	***	***																
		授業科目の単位数	単位	***	***	***																

大学名	東都大学

2.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***	***	***															
		入学者数	人	***	***	***	***															
		女子学生数	人	***	***	***	***															
		社会人学生数	人	***	***	***	***															
		留学生数	人	***	***	***	***															
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***	***															
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***	***	***															
		入学者数(B)	人	***	***	***	***															
		女子学生数	人	***	***	***	***															
		社会人学生数	人	***	***	***	***															
		留学生数	人	***	***	***	***															
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***	***	***															
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***	***	***															
		編入学定員	人	***	***	***	***															
		在籍者数(D)	人	***	***	***	***															
		編入学者数	人	***	***	***	***															
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***	***	***															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	***	***	***																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	***	***	***	***															
		授業科目の単位数	単位	***	***	***	***															

大学名	東都大学

３.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	520	518	518	518															
		入学者数	人	421	328	392	349															
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***	***															
		入学者数	人	***	***	***	***															
	入学者合計	入学定員(A)	人	520	518	518	518															
		入学者数(B)	人	421	328	392	349															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.81	0.63	0.76	0.67															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1940	2082	2084	2102															
		編入学定員	人	***	4	4	4															
		在籍者数(D)	人	1637	1619	1559	1451															
		編入学者数	人	***	0	1	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.84	0.78	0.75	0.69															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	選定−5年	選定−4年	選定−3年	選定−2年	選定−1年	選定													
項目	単位																		
外部資金獲得額	千円	8,883	1,332,325	324,165	97,097	73,824	59,250	735,833	23,626										

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	165,029
本事業による助成金の額(F)	千円	1,192,113
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	194,832

特記事項